

科目名	プロジェクトマネジメント							年度	2026	
英語科目名	Project Management							学期	前期	
学科・学年	ITスペシャリスト科	3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高橋		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムコンサルタント		

**【科目の目的】**

本科目の目標は、学生がプロジェクトマネジメントの基本的な概念を理解し、実際のプロジェクトに適用する能力を身につけることです。学生は、プロジェクト計画、進行管理、品質管理、リスク管理などのスキルを実践を通じて習得し、チームワークとリーダーシップを向上させることを目指します。また、プロジェクトマネジメントにおける問題解決能力を強化し、将来の業務に役立つ実務的な知識を得ることを目的とします。

**【科目の概要】**

この授業では、プロジェクトマネジメントの基本的な理論と実務スキルを学びます。PMBOKやアジャイルなどのフレームワークを通じて、プロジェクトの計画、実行、監視、完了までの管理方法を理解し、実際のケーススタディを通じて実践的なスキルを養います。

**【到達目標】**

- A. プロジェクトマネジメントの基本的な概念を理解する
- B. プロジェクトの計画、進行管理、品質管理、リスク管理を実践的に学ぶ
- C. チームワークとリーダーシップのスキルを向上させる

**【授業の注意点】**

本科目で行う演習は、「システム開発グループ演習」と連携しながら行う。チームでの作業になるため、メンバーとしっかりコミュニケーションをとり、目的・目標をしっかりと理解し、能動的に授業に取り組むこと。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	プロジェクトマネジメントの基本的な概念を完全に理解し、実務に即応用できる。	基本的な概念を理解し、ほとんどの状況で適切に応用できる。	基本的な概念を理解し、時々適切に応用できる。	基本的な概念に関して理解が不十分で、応用に課題がある。	プロジェクトマネジメントの基本的な概念をほとんど理解しておらず、応用できない。
到達目標 B	計画、進行管理、品質管理、リスク管理の全ての領域で高度な知識とスキルを持ち、実践で完全に適用できる。	計画、進行管理、品質管理、リスク管理を適切に実践し、問題に対処できる。	計画、進行管理、品質管理、リスク管理に関して基本的な理解があり、時々実践に適用できる。	計画、進行管理、品質管理、リスク管理の基本が不十分で、実践に課題がある。	計画、進行管理、品質管理、リスク管理の実践がほとんどできない。
到達目標 C	チームワークとリーダーシップにおいて、他のメンバーを積極的に引き付け、協力を促進し、効果的に導くことができる。	チームワークとリーダーシップを実践し、良好な結果を得ることができる。	チームワークとリーダーシップにおいて、効果的に貢献できるが、時に改善の余地がある。	チームワークとリーダーシップにおいて課題があり、グループの効果的な運営に困難がある。	チームワークとリーダーシップがほとんどできず、グループ活動に貢献できない。
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

図解入門よくわかる最新PMBOK

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		プロジェクトマネジメント			年度	2026
英語表記		Project Management			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	プロジェクトマネジメントの基礎	プロジェクトの基礎を理解する	1 プロジェクトの定義と特徴	プロジェクトと業務の違いを理解し、プロジェクトの基本的な特徴を説明できるようになる。	2	
			2 プロジェクトマネジメントの重要性	プロジェクトマネジメントが組織に与える影響を理解し、その必要性を説明できる。		
			3 PMBOKの概要と構成	PMBOKの基本的な構成とその重要性を説明できる。		
2	プロジェクトの立ち上げと計画	プロジェクト計画の立て方を学ぶ	1 プロジェクト憲章の作成方法	プロジェクト憲章を作成し、プロジェクトの目標や成果物を明確に設定できる。	2	
			2 スコープの定義と管理方法	プロジェクトスコープを定義し、スコープの管理方法を理解できる。		
3	スコープとリソース管理	スコープとリソース管理の方法を理解する	1 スコープ管理計画の作成	プロジェクトのスコープを管理するための計画を作成できる。	2	
			2 リソース計画と調達	必要なリソースを特定し、適切な調達計画を立てられる。		
			3 チームの役割と責任分担	チームメンバーの役割を定義し、責任を分担できる。		
4	タイムマネジメント	効果的なスケジュール管理の技法を学ぶ	1 スケジュール作成の基本	スケジュール作成の基本的な手法を理解し、ガントチャートを作成できる。	2	
			2 重要なタスクの優先順位付け	タスクを優先順位順に整理し、最適な順番で作業を進められる。		
			3 進捗管理と調整	プロジェクトの進捗を管理し、スケジュールを調整できる。		
5	コストマネジメント	プロジェクト予算の設定と管理方法を学ぶ	1 予算設定の方法	プロジェクトの予算を設定し、必要なリソースに対する予算配分を行える。	2	
			2 コスト管理の基本手法	プロジェクトのコスト管理方法を理解し、予算内でプロジェクトを進める方法を学ぶ。		
			3 コスト監視とコスト超過の対応	コスト監視の方法を理解し、コスト超過の問題を適切に対応できる。		
6	品質マネジメント	プロジェクトにおける品質の管理を理解する	1 品質計画の作成	プロジェクトにおける品質計画を作成し、品質基準を明確にできる。	2	
			2 品質管理の手法	品質管理の手法を理解し、プロジェクトで品質を保証するための方法を学ぶ。		
			3 品質監視と評価	品質管理を監視し、必要に応じて評価できる。		
7	リスクマネジメント	リスク管理のプロセスを学ぶ	1 リスクの識別方法	プロジェクトに潜むリスクを識別し、リスクの分類を理解できる。	2	
			2 リスク分析と評価	リスクの発生可能性と影響を評価し、リスク対応策を策定できる。		
			3 リスク対応計画の策定	リスクに対する対応計画を作成し、実行できる。		
8	コミュニケーションマネジメント	ステークホルダーと効果的にコミュニケーションする方法を学ぶ	1 コミュニケーション計画の作成	効果的なコミュニケーション計画を作成し、情報伝達の方法を理解できる。	2	
			2 ステークホルダーの特定と分析	ステークホルダーを特定し、その要望に対応する方法を学ぶ。		
			3 情報の適切な共有方法	プロジェクトメンバーやステークホルダーと情報を適切に共有できる。		
9	ステークホルダーマネジメント	ステークホルダー管理の重要性を理解する	1 ステークホルダー識別法	ステークホルダーを識別し、その影響度と関心を評価できる。	2	
			2 ステークホルダーとの関係構築	ステークホルダーとの良好な関係を構築するための方法を学ぶ。		
			3 ステークホルダーの期待値管理	ステークホルダーの期待を管理し、適切な調整を行う方法を学ぶ。		
10	アジャイル手法	アジャイル手法を活用したプロジェクト管理方法を学ぶ	1 アジャイルとウォーターフォールの違い	アジャイルと従来のウォーターフォール手法の違いを理解できる。	2	
			2 スクラムの基本プロセス	スクラムの基本プロセスを理解し、適切に実行できる。		
			3 スプリント計画と実行	スプリント計画を立て、実行し、進捗を管理できる。		
11	プロジェクトの進捗と監視	進捗を効果的に管理する技法を学ぶ	1 プロジェクト進捗管理の手法	プロジェクトの進捗を監視し、効果的に管理する方法を学ぶ。	2	
			2 進捗報告の作成方法	進捗状況を報告するための効果的な方法を理解し、実行できる。		
12	変更管理	変更管理の技法とその重要性を理解する	1 変更管理プロセスの概要	変更管理の重要性を理解し、適切なプロセスを実行する方法を学ぶ。	2	
			2 変更要求の評価と対応方法	変更要求を適切に評価し、影響を分析できるようになる。		
			3 変更管理の文書化	変更管理の記録を正確に行い、関係者と共有できる。		
13	プロジェクト閉鎖と評価	プロジェクトの閉鎖手順を学ぶ	1 プロジェクト完了の手順	プロジェクトの完了手続きと成果物引き渡しの方法を理解し、実行できる。	2	
			2 成果評価と反省	プロジェクトの成果を評価し、改善点を反省する方法を学ぶ。		
			3 プロジェクトの学びと教訓	教訓を抽出し、今後のプロジェクトに活かす方法を理解する。		
14	ケーススタディと実践演習	実際の問題に対する解決策を考える	1 実際のプロジェクト事例の分析	実際のプロジェクトケースを分析し、課題解決策を提案できる。	2	
			2 チームでのディスカッションと協力	チーム内で効果的に意見を交わし、解決策を協力して導き出せる。		
15	最終プロジェクト発表	チームとして成果を発表する	1 成果物の発表方法	プロジェクトの成果を効果的に発表し、他者に伝える方法を学ぶ。	2	
			2 フィードバックの受け入れと改善	発表後のフィードバックを受け入れ、改善点を反映する能力を身につける。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等